(様式第3号)

企業·団体名 (ハチ食品株式会社駒ヶ根工場

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R7.10.21変更】

I	i b	<u>b</u>							主なSDGs (1	7ゴー	ルと1	69ターゲット	-)関連	項目	
Ė	テゴ	チェック項目	取組 【非験当】 【予定】の 異体的な取組 の場合 場合 (果などの取得配証があれば、併せて記載)		異体的な取組 (風などの取得観証があれば、併せて記憶)	1		3 4 5 6	7	8	9 10 11	12 13	14 15	16 17	
有	カテゴリ	, 1, 7, 7, Ku	レベル	選択入力	選択入力	(【非該当】を選択した場合こちらには理由配載)	125 6463	2::: 36	🎉 🙀 👨	•	al	R G Alta	11 mm.	H 100 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	¥ ⊕
	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			行動規範、服務規律およびコンプライアンス規定において、採用・処遇における差別を 禁止しています。性別、年齢、国籍、人種、宗教、障がい等に基づく差別を行わないこと を明文化し、従業員に周知しています。			5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3		1	16.1 16.2 16.7
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談 体制を整備している	基本(必須)			服務規律及びコンプライアンス規定でセクシュアルハラスメント、パワーハラスメントを明確に禁止しています。定期的なセミナーの実施や相談体制を整備するとともに、コンプライアンス委員会で再発防止を管理しています			5.1 5.2 5.5		8.5 8.8			1	16.1
	3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本(必須)			就業規則により時間外労働の上限(月45時間、年360時間)を規定し、恒常的な長時間 労働の削減を義務付けています					8.5 8.8				
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本(必須)			外国人技能実習生向けに定期的に面談を行い、人権を尊重した適正な労務管理を行っています。			4.4		8.7 8.8	10.2 10.3			
	人権	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・安全環境管理室という新たな部署設置。 ・月1の社内巡回・会議 ・安全スローガン作成・のぼりやポスターの作成		,	3		8				
	労働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・産業医の設置・外部相談窓ロサービスの設置・ストレスチェックの実施		;	3						
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境 の整備に取り組んでいる	基本(必須)			女性管理職登用や男性の育児休業取得推進など、多様な人材が活躍できる環境を整 えています。育児・介護休業規程に基づき、柔軟な勤務制度を導入しています。			5.1 5.5		8.5	10.2 10.3			
	3	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・職務や役割に応じた研修体系を整備し実施している (主任研修、管理監督者研修 他)			4 5.5		8	9			
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本(必須)			無期転換規定や継続雇用内規を整備し、雇用の安定を図っています。また、従業員規 定により登用制度を設け、パート・準社員から正社員への登用を実施しています			5.5		8.5	10.2 10.3			
1	o	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			就業規則に基づき、定期健康診断を実施しています。加えて人間ドック補助制度、ストレスチェック、健康相談窓口を整備し、従業員の健康保持・増進に取り組んでいます		;	3		8				
1	1	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本(必須)			食品リサイクル率96.8%を達成し、廃棄物の堆肥化など循環型社会づくりに貢献しています。エコアクション21認証のもとで適正管理を行っています。						11.6	12	14.1	
1	2 環	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・省エネ診断、その結果を踏まえた省エネ計画を策定し推進している				7.3			13		
1	境	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			エコアクション21に基づき温室効果ガス排出量を算定・把握しています。削減目標を設定し、太陽光発電の導入、省エネ投資(設備断熱化等)を進めています。				7.2 7.3			12.4 13.3		
1	4	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用 に取り組んでいる	基本(必須)			法令を遵守し、適切に管理しています。		3	9 6.3			11.6	12.4		

項	i b				1		主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 1												\neg
Ė	テ	チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 場合	具体的な取組 (果などの取得認証があれば、併せて記載)	1	2			;	7 8	9	10 11					
番号	カテゴリ	V = V X X	レベル	選択入力	場合 選択入力	(【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	125. 546.5	<u>m</u>		ं ज्	717	**************************************	4	± Alfa	CO S ===	(1 mm. 1 mm.	5 E ST	Y	******
1		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	【非該当】		当社の事業内容には該当しませんが、必要に応じて検討いたします。				6.	6						15		
1	6	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本(必須)			食品リサイクル法に基づき、リサイクル可能なものはリサイクルを行うよう取り組んでいます。									13	14	4.1		
1	7	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			自社の水使用量を把握、節水に努めています。				6. 6.									
18	環境	【環境マネジメントシステム】 ・18014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			エコアクション21を取得しています			3.9	6	,	7			12	13.3 1	14 15		
15	9	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			エコアクション21の環境活動レポートを公開しています									12.6				
2	0	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			太陽光パネルの設置(信州駒ヶ根工場、神戸物流センター)を行っています。					7	.2				13			
2	1	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)	【非該当】		当社の事業内容には該当しませんが、必要に応じて検討いたします。									12.2	13 1	14 15		
2	2	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			服務規律およびコンプライアンス規定の順守事項に定め、従業員に周知しています												16 16.5	
2	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			服務規律およびコンプライアンス規定の順守事項に定め、従業員に周知しています												16	
2		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本(必須)			・特許、商標等知的財産権の取得・管理している ・製品開発における特許侵害調査を実施している。						8.2 8.3	9						
2	公正な事業	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本(必須)			「特定個人情報・雇用管理情報管理規程」に基づき、マイナンバーを含む特定個人情報 や従業員情報を適切に管理しています。												16	
2	/m	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱って <u>いないこと</u> を確認している	チャレンジ (任意)			当社の事業内容には該当しませんが、必要に応じて検討いたします。												16	
2	7	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系へ の悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)に ついて認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			服務規律およびコンプライアンス規定において、セクシュアルハラスメント、パワーハラス メントを明確に禁止しています。相談体制を整備するとともに、コンプライアンス委員会で 再発防止を管理しています				5		8		10	12	13 1	14 15	16	17
2		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: https://www.biz-partnership.jp/	基本(必須)		【予定】	パートナーシップ構築宣言をを作成公表予定			3			8	9	10					17

	- 175		【非該当】	【予定】の	具体的な取組	1	2								ト) 関連 13		15 16
	チェック項目	取組 レベル	の場合 選択入力	選択入力	(果などの取得器証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合ころらには理由記載)	125 6463	2 = 0 00	2 12200 -/a/4	b mile	<u>A</u>			v voca	ald:	© 0		6 to 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本(必須)			「食品安全マニュアル」に基づき製品の安全性と品質を最優先とし、FSSC22000の認証を取得し、食品安全マネジメントシステムを構築しています。			3.9							12.4		
製品・サー	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本(必須)			「品質方針」に基づき、食品安全と品質を最優先としています。FSSC22000認証を取得し、食品安全マネジメントシステムを構築しています。							9					
ビス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			「環境経営方針」に基づき、環境に配慮した経営を推進しています。エコアクション21認証を取得し、環境経営マネジメントシステムを構築しています。					6					12 13	14	15
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			「食を通じて社会に貢献する」という理念のもと、社会課題の解決につながる製品開発を 行っています。具体的には、低糖質カレーや栄養バランスに配慮したレトルト食品の開 発、フードバンクへの寄酵を実施しています。また、チャイルド・ケモ・ウォーク等の活動を 支援し、社会課題解決に取り組んでいます。	· ·	2	3	4 5	6	7	8 9	10	11	12 13	14	15 1
2 +	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・フードバンクへ寄付・イベントの協賛等				4			9		11	12	14	15
也或貢献社会貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・フードパンクへ寄付・イベントの協賛等				4					11		14	15
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ (任意)			地域資源を活用した製品開発を行っています。具体的には、「るるぶカレー」シリーズに おいて日本各地の名産品を使用し、地域の特産物を活かしたレトルトカレーを製造・販 売しています。これにより、地域資源の消費促進(地消地産)と販路拡大(地産外商)に 貢献しています。							8 9		11	12 13		
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本(必須)			企業理念「食を通じて社会に貢献する」および行動規範や経営ビジョンなどを社内ボーダルサイトへの掲載や、事業所内への掲示物によって常に確認できる環境を整えています。	Z						8 9					
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築し ている	基本(必須)			コンプライアンス規定により、法令・内部規定・社会的規範の遵守を明記しています。違 反時は隠ぺいを禁止し、コンプライアンス委員会で対応を審議します。 また、必要に応じて外部の専門家による対応を行い公平性の確保に努めております。												
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整 備している	基本(必須)			専門の部署はありませんが、コンプライアンス委員会(総務部が事務局)を設置し、法令 遵守や社会的責任に関する施策を審議しています。 環境面ではエコアクション21認証のもと、環境管理責任者と事務局を配置し、省エネ・廃 棄物削減、CO:排出管理を実施しています。 また、安全衛生委員会を毎月開催し、職場環境改善に努めるとともに、品質保証部門が FSSC22000認証に基づき食品安全・品質管理を担っています。	:											
組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼ す影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本(必須)			当社は株主、消費者、従業員、地域社会、取引先などのステークホルダーとの対話を重視しています。株主総会での経営方針説明や質疑応答を通じ理解を得るとともに、消費者からのお問い合かせやご意見を商品改善に反映しています。地域社会に対しては工場見完全やマランン大会協費、食品寄贈などを行い、自治体やNPOとも連携して社会的課題に対応しています。さらに、取引先に対してはGSRアンケートや監査への誠実な対します。これにより組んでした。サブライチェーン全体での持続可能性向上に取り組んでします。]											
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			本予連及や紅蚕的信用大愛というだり人グを明確に定義し、役員・従来員に周知しています。リスク発生時にはコンプライアンス委員会が調査・再発防止策を審議し、迅速に対応する体制を整備しています。また、安全衛生委員会を毎月開催し、労働安全リスクを把握・改善しています。さらに、特定個人情報・雇用管理情報管理規程に基づき情報セキュニュリスカムを無阻・ドベ制線は本記・ベッ率はロリスカにキカルに「エいます。	+											
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			企業理念のもと、GSRの考え方に基づいて事業活動を行っています。												
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)		【予定】	当社では事故や災害などの発生時に備えた事業継続計画(BCP)の必要性を認識しており、計画立案を進めています。現時点では具体的な運用には未着手ですが、今後、 成	į,						9		11	13 13.		
•	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			- 事業承継計画は明文化していないが、人材育成やガバナンス体制を通じて持続可能な 経営を推進しています。							8 9					

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組 1	1	2 3	4	5	6 7	8	9	10	11 12	13	14	15 16	3 17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今 後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信 州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材 CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- 〇 この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、 間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 〇 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定